

美術館活用のすすめ ~2018 年度版~

■ 京都国立近代美術館の「学習支援」

- ・ 小・中・高等学校、大学と連携しながら、美術館を活用した「学びのサポート」
 - ・ 教員向け研修等の受け入れ
- ⇒いずれも、子どもたちの実態や授業のねらいに応じた活動になるよう、先生方と一緒に相談を重ねながら、セミオーダーで活動を作っていくことを大切にしています。

■ 美術館を上手に活用するために

心得その1：「ねらい」を明確に

活動することそれ自体が目的（ゴール）になっては勿体ない！

活動を通して子どもたちに感じとってほしいこと = 「ねらい」を設定しましょう。

心得その2：美術館の「何を」、「どのように」活用するのか

ねらいを達成するためには、美術館をどのように活用するのが良いのでしょうか。

美術館には、学校の図工室・美術室にはない「もの」や「こと」があります。美術館ならではの資源を生かした体験ができるように、考えていきましょう。

（例）本物の作品（大きさ、質感など） / 展覧会 / 美術館建築 / そこで働く人 …

■ 活用までの流れ

ねらいの設定 ・ 活動のイメージを膨らませる（先生）

↓

電話・メール等で、美術館へ問い合わせ（先生）

「美術館と連携した授業を希望」とお伝えください

↓

学習支援担当と相談、作品選び等（先生・美術館）

↓

依頼状の作成、提出（先生）

↓

活動内容の調整、ワークシート作成など（先生・美術館）

↓

当日（先生・美術館）

■ 過去の「学習支援」の事例は、当館ウェブサイトから

京都国立近代美術館 MOMAK
The National Museum of Modern Art, Kyoto

English 簡体中文 한국어

ホーム 美術館の概要 お知らせ 展覧会 コレクションギャラリー 所蔵作品について

学習支援活動 Education

HOME > 学習支援活動 > 2018(平成30)年度

京都国立近代美術館では、より多くの人に美術鑑賞や美術館利用の機会を提供するため、さまざまな活動を展開しています。とりわけ、美術館を活用した自発的な学習や研究活動をサポートする「学習支援」の立場から、小・中・高等学校、大学と連携しながら、美術館利用プログラム・研究への支援や、研修の受け入れ等を行っています。また、展覧会を違う角度から楽しむためのワークショップなども実施しています。

主な活動の実施報告は、右上サイドバーの「過去の学習支援活動」からご覧いただけます。

- 鑑賞教材「国立美術館アートカード・セット」

平成30年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修 報告

主催：独立行政法人国立美術館
実施期間：2018年8月6日（月）～7日（火）
場所：国立西洋美術館、国立新美術館

[<詳細はこちら>](#)

学習支援活動TOP

過去の学習支援活動

- 2006(平成18)年度
- 2007(平成19)年度
- 2008(平成20)年度
- 2009(平成21)年度
- 2010(平成22)年度
- 2011(平成23)年度
- 2012(平成24)年度
- 2013(平成25)年度
- 2014(平成26)年度
- 2015(平成27)年度
- 2016(平成28)年度
- 2017(平成29)年度

ご利用案内 Visitor Information

- 開館時間・観覧料
- イベントカレンダー
- 館内フロアガイド
- バリアフリー情報
- 交通アクセス
- よくあるご質問

美術館での約束

- 作品にさわらない
みんなの大切な作品です、傷つけないようにしましょう。
- メモは鉛筆を使う
ペンのインクが作品につくと大変です。
- 走ったり騒いだりしない
ほかのお客さんの迷惑にならないようにしましょう。
- しずかにマナーをまもって鑑賞する
おはなしするときにはちいさな声で。

